

# A05

# アクティブ・ラーニングにつながるPISA型読解力 研究講座

## 講座の目的

## 対象と定員

PISA型問題の分析やワークショップを通して、PISA型読解力についての理解を深めるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえ、発問を軸にした授業づくりの研修を行い、実践的な指導力の向上を図る。

16名  
(中・高16名・特支)

## 期 日

## 研 修 内 容

平成30年10月18日(木)～19日(金)

- PISA型読解力の基礎的理解
- PISA型読解力を高める授業づくり
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、発問を軸にした授業改善の考察 等

## 担当者からのメッセージ

**PISA型読解力について理解を深め、アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善を考えます**  
「そもそもPISA型読解力って何？」という素朴な疑問から、「PISA型読解力に基づいた授業はどう展開すればいいのかしら？」という具体的な悩みまで、解決への糸口が本講座で必ず見いだせるはずです。

**明治学院大学教授 中村敦雄先生から、「PISA型読解力を高める授業づくり」ほか、  
今、国語の授業に必要なものは何かを分かりやすく解説していただきます。**

### 平成29年度受講者の感想

- ・アクティブ・ラーニングを授業に取り入れようと考えてはいるものの、実践がなかなか難しい状況でしたが、今回の研修に参加することで、活動だけを考えるのではなく、PISA型の発問を精査して授業を組み立てることで、どこで言語活動を入れればよいか自然と見えてくるのかなと思いました。
- ・今すぐにでも実践してみたいことをたくさん知ることができた。さっそく授業に取り入れて、生徒の力を伸ばすことのできる授業を模索したい。

